

## 68 歩道が広がり歩行快適

まちづくり



受賞者：なし  
 推薦者：松井 宣夫 さん

## 【推薦コメント】

猪方三丁目には、平成17年頃まで民間企業の社宅がありました。しかし、その後取り壊しが行われて新たにマンションが建設されました。そのマンション建設の際に、敷地外周に歩道スペースを新たに整備したことや、もともとあったバス通りの歩道はマンションの敷地を歩道状に整備して既存の歩道と接合したことによって、歩道の幅が広くなりました。低層の集合住宅で多摩川にも近いせいか、自然と調和させ、ゆとりを持った建物配置を意識したのだと思います。特に、バス通りの歩道は、小学校の通学路にもなっており、子供たちの安全にも非常に繋がっていると思います。

## 【講評】

平成17年2月にグランノア和泉多摩川というマンションが建設されました。第一種低層住居専用地域、建ぺい率50%、容積率100%、高さ制限10mという用途地域の範囲内で建設された低層マンションです。建設の際には、敷地外周を歩道状空地として確保し、植栽が設けられました。更に、猪駒通りは通学路のほかバスも運行しているため、新たに確保された歩道状空地により既存の歩道が広がったかのように感じられ、歩行者の方々は非常に便利になったと思います。マンション建設の際、こうした行為は都心では珍しいことではないようですが、通行する方々や、周辺にお住まいの方々へ配慮した行為として評価できるものと考えます。